

令和4年度 自己評価及び学校関係者評価

2月8日の第5回協議会までにご一読をお願いします。協議会にて、皆さんからご意見をいただきながら進めていくことを予定しています。

実施日	令和 5 年 2 月 8 日
-----	----------------

学校名	川越市立川越第一中学校
-----	-------------

- 評価
- A : よくできている。特に課題は見あたらない。
 - B : 概ねできているが、課題も少し見受けられる。
 - C : あまりできていない。課題も多く見受けられる。
 - D : できていない。課題が多く、解決には相当の努力が必要である。

領域	NO	評価項目	学校の自己評価		学校関係者評価	
			評価	評価理由及び改善策	評価	学校の説明についての意見
組織・運営	1	<p>学校は、特色ある学校づくりを目指し、PDCAサイクルのもと、学校行事や学級経営、教科経営、分掌経営にあたり、学校教育目標達成に向けて、組織的に取り組んでいる。</p> <p>※具体的な視点 学校教育目標、目指す生徒像・学校像、学校運営、学校行事、組織力</p>	B	<p>○学校を運営していくにあたり、組織的に進めることができている。</p> <p>○学校教育目標、目指す生徒像、目指す学校像を常に意識し、教育に当たれると良いのではないかな。</p> <p>○コロナ禍ではあるが、少しずつ周囲の理解と協力を得ながら、学校生活や学校行事が充実したものになってきている。</p>	B	<p>○目指す学校像や生徒像が、先生から生徒によりよく伝わりよい教育となるようにすることが大事ではないでしょうか。親も地域も同じかもしれませんが、「こうあってほしい」という願いが、ともすれば「こうなさい・こうあらねばならない」という圧力になってしまっていないかどうか、その都度謙虚にふりかえりながらご指導を継続してもらえることを期待しています。</p> <p>○先生方の言葉は、どんなご発言でも、子どもにも保護者にも大きな影響を与えますし、強く響きます。学校全体がそれを意識していくことで、よりよい関係づくりにつながると思います。子どもたちが安心して伸びることのできる教育環境として、あたたかい言語環境をよろしく願います。</p>
	2	<p>学校は、倫理確立委員会を機能的に活動させ、体罰や交通事故等の教職員事故や不祥事を根絶させるために取り組んでいる。</p> <p>※具体的な視点 学校倫理、教職員事故防止、不祥事根絶、</p>	C	<p>○職員会議や朝の打ち合わせでも、校長先生、教頭先生から指導があり、定期的に事故防止等に関する研修やチェックシートの活用などには取り組んでいる。</p> <p>○今年度は開催ができていない。</p> <p>○委員会のメンバーは、様々な意見が集まるような形にするといのではないかな。</p> <p>○校内研修等で不祥事・教職員事故防止に取り組んでいる。</p>	B	<p>○厳しめの自己評価をなしていますが、1年間本校を見させていただき、先生方の責任感ある倫理意識を感じています。これは、チェックシートを活用して個々で意識していらっしゃるからこそだと思います。</p> <p>○教職員事故や不祥事には特効薬はない、と思います。型どおりの委員会をやるだけではなく、やり方を工夫していくことが大切ですし、やはり個々の責任感や倫理観を高め合えるために「教育への理想」を持っている集団であることが大切だと思います。ぜひ多忙さに理想を失わずにいてほしいと願っています。そのために、少しでも我々が力になって先生方の手助けをしていきたいと思っています。</p> <p>○以前、管理職選考を合格していた優秀な先生でも事故を起こしたことを聞いたことがあります。不祥事は個々の問題なので、個別に指導する必要があるのだと思います。校内での様子や服装など、小さな兆候を見逃さないでください。</p>

領域	NO	評価項目	学校の自己評価		学校関係者評価	
			評価	評価理由及び改善策	評価	学校の説明についての意見
組織・運営	3	<p>学校は、災害や事故等のマニュアルを作成し、迅速に対応できる体制を整えるとともに、内容を教職員に周知させている。</p> <p>※具体的な視点 危機管理、避難訓練、学校安全</p>	A	<p>○今年度も危機管理マニュアルが全職員に配られている。研修会で活用した。</p> <p>○例年、地震や火災時の防災訓練を重ねてきたことで、生徒が落ち着いて行動できるようになっている。</p> <p>○実際の地震の時も、素早く机の下に隠れることができている。</p> <p>○教員全員が危機管理マニュアルを持ち、いざというときに対応しやすくなっている。</p> <p>○大地震(震度5強以上)のときは原則として「留め置き」であるが、その後の対応も訓練等ができるとうい。</p>	A	<p>○今年度はマニュアルを活用した研修があったとのこと、とてもよい改善だと思います。いつ起こるか分からないからこそ、今後も備えた教育をお願いします。</p> <p>○9月の防災の日には、生徒・保護者・地域と一緒に防災訓練をしたらどうでしょうか。消防署を呼んで教えてもらう訓練があると聞きましたので、ぜひ本校でもやっていただきたいです。</p> <p>○12月に実施した「防災見学会」には、4支会長から良い評価を頂きました。近隣の小学校でも同じようなことを実施したことがあるが、それっきりだったと聞きます。ぜひそうならないように、地域との連携を継続していきたいですね。</p> <p>○地震があると、すぐに先生方が教室に駆け付けてくださっていると聞いています。子どもたちは本当に安心ですし、それを聞いている保護者・地域も嬉しいです。ありがとうございます。今後もよろしくお願いします。</p>
	4	<p>学校は、組織的に環境美化に努めるとともに、施設設備の適切な管理を行っている。</p> <p>※具体的な視点 施設設備、薬品台帳、刃物台帳、備品整備、清掃美化</p>	B	<p>○全体的に老朽化が進んでいるので、修繕を進めてほしい。大規模修繕で雨漏りについては改善できたが、換気扇の落下など、大きな事故につながる破損もあった。老朽化について、計画的にどう対処していくかは課題。</p> <p>○東西のトイレの老朽化が進んでいる。水漏れも頻繁にあり、汚臭もあるので、改修を強く希望する。</p> <p>○特別教室と体育館にエアコンがないので、ぜひつけてほしい。特に体育館は災害避難場所であり、有事の際にも必要かと思われる。</p> <p>○一中ボランティアや親師会の方々等とも協力して環境改善が進んでいる。テニスコートとグラウンドの段差解消はとてもよかった。</p> <p>○親師会やボランティアの方にご協力いただき、定期的な花植えや整備などの学校美化が進んでいる。</p> <p>○生徒は清掃を一生懸命行っている。また生活委員を中心に落ち葉はきをとてもよくやってくれている。</p>	A	<p>○換気扇の落下や窓枠の落下など、大きな事故につながる破損があったと聞きました。修繕が不十分だから自己評価がBなのでしょう。しかし、先日業者による全箇所の点検を入れてくださったと聞き、安心しました。ぜひ学校の安全のために、今後も修繕の継続をよろしくおねがいします。</p> <p>○トイレの修繕については、頻繁な水漏れ・汚臭など改善を要することが分かりました。ぜひ困っていることを教えてください。協力していきたいです。</p> <p>○一中ボランティアや親師会の方々等とも協力して環境改善を進められました。テニスコートとグラウンドの段差解消による避難経路の確保は、お役に立ててうれしかったです。今後もぜひ進めていきましょう。</p> <p>○親師会やボランティアの方にご協力いただき、定期的な花植えや整備などの学校美化が進んでいることは、一中の文化ですね。ぜひ継続してもらいたいです。</p> <p>○学校に来ると、いつでも生徒が一生懸命に清掃している姿を見かけます。先生方のご指導のお陰です。誇れる一中生の姿だと思います。</p>

領域	NO	評価項目	学校の自己評価		学校関係者評価	
			評価	評価理由及び改善策	評価	学校の説明についての意見
教育課程・学習	5	<p>学校は教育課程の編成・実施・評価を通し、教育活動の充実改善を行っている。</p> <p>※具体的な視点 教育課程、教科等指導のPDCA、 道徳、総合的な学習の時間、学年 学級経営</p>	A	<p>○学校全体が教育活動の充実改善を行えている。 ○コロナ禍であっても、教職員の負担を考え、生徒にとっても効果的な教育課程の編成を工夫し、進化し続けている。</p>	B	<p>○他校と比べると、評価が厳しいということを目にしたことがあります。きっと先生方からの生徒への期待のあらわれなのだと思いますが、生徒の進路決定においては苦しくなってしまう一面ともあると聞きました。ぜひ校内での慎重な検討をお願いしたいです。 ○教育課程をどのように編成しているのか、我々には見えないので評価がしずらいです。(一次年度以降は年度初めに「一中の教育」を配付することをお約束しました。)</p>
	6	<p>学校は、個に応じた指導を行うなど、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための取組を工夫している。</p> <p>※具体的な視点 教科等での個に応じた指導の工夫、質問会、補習会、夏休み学習会</p>	B	<p>○多くの先生方が、労力を惜みずには補習会を定期的に行っている。 ○質問会は各学年ほぼ同じ歩調で行っている。補習会は各学年で対応が違う。学校全体で最終的な目的が達成できるのであれば、生徒や学年の実態に合わせてやり方を変えた方がやりやすいからであると思われる。 ○3年間の継続をとおして、小学校段階の学習指導では定期試験での成績向上になかなかつながらないことを感じた。そのため、成果・効果には疑問が残った。 ○1年生では全生徒に参加範囲を広げたため、集まりすぎてしまい対応が難しかった。一人一人の学力の幅が大きい点と、参加してほしい生徒が来ない点に課題を感じた。 ○理科で実施している、算数道場・鬼ドリルや全校共通問題テストなどの取り組みは、素晴らしい。各教科で実施はできないか。</p>	B	<p>○色々な工夫をして取り組んでくださっていることが伝わってくる自己評価だと思います。取り組んでくださっているからこそ出てくる改善策や課題点なのだと思います。ありがとうございます。これからも、子どもたちが勉強を分かるようになるために、ご尽力をお願いします。 ○テスト後に、上手に勇気づけをしてくださる先生もいることを聞いています。自分が中学生時代にもそんな先生がいてくれたことが良い思い出になっています。「出来が悪かった」「この程度の問題が出来ていないのはバカ」という生徒が自信ややる気をなくしてしまったり、発言がイジメにつながってしまったりするような発言がないように気をつけてもらいたいです。生徒が、自分の出来ていないところに気付くことは大切だと思いますので、丁寧であたたかいご指導をお願いします。</p>

領域	NO	評価項目	学校の自己評価		学校関係者評価	
			評価	評価理由及び改善策	評価	学校の説明についての意見
教育課程・学習	7	<p>学校は、川越市小・中学校学力向上プランを踏まえ、児童生徒の思考力、判断力、表現力の育成のために、授業改善に取り組んでいる。</p> <p>※具体的な視点 川越市学力向上プランの活用、授業改善</p>	B	<p>●個に応じた指導の工夫は、ICT研修、特別支援・授業力向上に関する研修の必要性を感じる。今後も検討・改善を重ねていきたい。</p> <p>●授業力向上のためには、授業力のある先生に自身の授業を見て直してもらったり、模擬授業研修などが実施できると良いのではないかと。</p> <p>○一中スタンダード・授業スタンダードには意識がある。</p> <p>○「川越市学力向上プラン」を活用して、再度研修をしたり、お互いの授業を見合うなど、授業改善に取り組んでいきたい。</p> <p>○「川越市学力向上プラン」は、経験年数の少ない先生方のご意見では、授業での指針となった為、有効活用した。</p> <p>○授業スタンダードも含め、経験豊富な先生方も生徒の思考力、判断力、表現力の育成のために、今後もさらなる授業改善に取り組む必要がある。</p> <p>○授業では、学習のねらいを明確にし、何のための取り組みなのかを理解する指導が必要である。</p>	C	<p>○「川越市学力向上プラン」が分かりませんでしたので、評価が出来ませんでした。(一次年度以降は年度初めに「川越市学力向上プラン」を配付することをお約束しました。)</p> <p>○そのプランは分かりませんでした。子どもたちのために様々な授業の工夫をしてくれていることを知り、感謝しています。塾に行かなくても勉強ができるようになることが、子どもにとっては大切ですので、よろしくお願いします。</p> <p>○保護者が授業を受ける機会があると、先生方のしてくださっている努力や先生方の素晴らしさが分かるのではないかと思います。校長先生の人権に関する授業を受けて、保護者からそういう声がありました。ぜひ次年度、「授業参観」ではなく、「授業参加型の学校公開」をしていただきたいです。</p>
	8	<p>学校は、学習ルールを定めて落ち着いた授業を進めるなど、共通理解のもと指導にあたっている。</p> <p>※具体的な視点 授業規律、1分前着席、生徒指導としての授業の約束</p>	A	<p>○落ち着いて授業が展開されている。</p> <p>○1分前着席もできている。その先の授業への心構えづくりや準備まで意識させるためには、教師の意識も高めていく必要がある。</p>	A	<p>○いつも落ち着いて授業を受けている様子が見られません。1分前着席もできていました。今後もよろしくお願いします。</p>
	9	<p>学校は、児童生徒の体力向上に向け、児童生徒が体育や部活動・外遊びに意欲的に取り組むよう指導している。</p> <p>※具体的な視点 体力向上、昼休みの外遊び、部活動、保健体育科、食育・保健指導</p>	C	<p>○授業、学校生活、行事、部活動等を通して、運動の楽しさや大切さを学ばせていくことが必要だが、いくら学んでも発揮する場や時間がないのであれば本末転倒である。</p> <p>○コツコツと鍛えた体は、たからものである。部活動の地域移行が予定されているが、それによって教員が生徒に対して意欲的に取り組めるように指導できるか、について多少疑問もある。</p>	C	<p>○部活の参加率が下がっていると聞き、残念です。先生方のご負担が大きいことも、新聞などで知りました。地域からのサポートを活用できるようにしたらどうでしょうか。</p> <p>○コロナがあってもなかなか部活動も出来ずにいたのでCにしますが、コロナが収束してからまた活発になることを期待しています。</p>

領域	NO	評価項目	学校の自己評価		学校関係者評価	
			評価	評価理由及び改善策	評価	学校の説明についての意見
生徒指導	10	<p>学校は、児童生徒の豊かな心を育み、適切な生徒指導を行っている。</p> <p>※具其他的な視点 道徳、生徒指導、教育相談、朝読書、特別支援教育</p>	B	<p>○生徒指導の問題が何か起きたときは、当事者(担任等)→学年の生徒指導担当→生徒指導主任→管理職に報告するという原則を、全職員が徹底していく。</p> <p>○様々な事案があるため、「対応する・しない」、「統一する・しない」などについて具体的に伝えていくことが大切だと考える。そうすることで、検討会議ができるのではないかと考える。</p>	B	<p>○『様々な事案があるため、「対応する・しない」、「統一する・しない」などについて具体的に伝えていくことが大切だと考える。』ということですが、生徒指導の案件には、その大小に関係なく、全て対応すべきではないかと思えます。</p> <p>○報告については、ぜひそれを徹底してほしいですが、報告が目的にならないようにしてもらいたいです。生徒指導は、子どもの改善が目的であってほしいです。</p>
	11	<p>学校は、児童生徒の主体的な取組を重視し、規範意識を高める指導を行っている。</p> <p>※具体的な視点 清掃指導、給食指導、情報教育、生徒会、環境掲示教育、福祉教育、国際理解</p>	B	<p>○「指導したい」という声が複数あった。気が付いたらその都度、即時、指導していくことが大切。</p> <p>○学校全体でやろうと決まったことは、全職員で協力してやっていきたい。</p>	B	<p>○清掃指導で、子どもを褒めながら上手に指導をなさっている先生の発言を実際によく聞きました。その先生はどんなときにもそうやって生徒を上手に伸ばしてくださっていて、卒業生の保護者からもそう聞いています。その先生のご指導には、親としても見習いたいと思えますし、勉強になっています。ぜひそういう先生の素晴らしい指導を、全先生方が学んでいけたらいいのではないかと思います。</p> <p>○掲示物の全く変わらない廊下(教室)があります。ぜひ工夫している先生の教室を参考にして工夫出来たらいいと思えます。</p>
	12	<p>学校は、いじめや差別を許さない態度を育成し、児童生徒が生命の大切さを学びお互いの良さを認め合える指導を行っている。</p> <p>※具体的な視点 人権教育、保健指導、安全教育、生徒会によるいじめ撲滅運動</p>	A	<p>○SNS関係等、見えない人間関係でのトラブル等が増え、指導が難しくなっている。</p> <p>○道徳教育は学校生活全体を通じて行われるものなので、定期的にはなく、日常的にタイミングを見計らって生徒に伝えていけばよいのではないかと考える。</p>	B	<p>○どこまで学校が関わればよいのか、不明な点でもあると思えます。</p> <p>○発生事案に全部対応することは無理だと思いますが、どのようにイジメや人間関係のトラブルに対処しているのかを知る機会がなかったので評価が難しいです。</p> <p>○SNS関係については、保護者への啓発や注意喚起の機会があると良いのではないのでしょうか。</p>

領域	NO	評価項目	学校の自己評価		学校関係者評価	
			評価	評価理由及び改善策	評価	学校の説明についての意見
家庭・地域との連携	13	<p>学校は、開かれた学校づくりを目指して、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。</p> <p>※具体的な視点 学校・学級・学年通信などの各種通信による発信、学校運営協議会への発信、HP更新、親師会</p>	A	<p>○親師会との連携は、綿密にできている。</p> <p>○個人情報への配慮など難しい中、可能な限り開示出来ていた。また、学校だよりのアップなど努力が見られた。</p> <p>○地域の方の協力を、もっと情報発信してもいいのではないか。</p> <p>○HPについて、内容の精査や内容の更新が必要である。(いじめ基本方針が平成30年～変更されていない等)</p>	A	<p>○一中での親師会と学校との連携は伝統です。ぜひ今後も活発に連携してください。</p> <p>○親師会本部の保護者は学校と関われるが、役員になっていない保護者とのつながりが希薄になってしまっているように感じます。コロナが原因かもしれませんが、残念ですし、そのことで学校への理解者が少なくなってしまうことも心配しています。</p>
	14	<p>学校は、積極的に地域の人材を教育活動に活用している。</p> <p>※具体的な視点 ゲストティーチャー、学校ボランティア</p>	B	<p>○今年度、多くの人に関わってくれているように感じる。忙しすぎて把握しきれないのが現状なので、気をつけていきたい。</p> <p>○学校ボランティアの方に様々な場面で協力いただき、学校がきれいになっている。</p> <p>○親師会の「キラキラウィーク」の取り組みが良かった。</p> <p>○コロナの関係もあり昔と比べると地域の方との交流は社会情勢的に難しくなった。しかし、少しずつ緩和されるので期待している。</p> <p>○学校として、どこまで学校としてできるのかを確認し、開催方法や内容などを工夫して取り組んでいく必要がある。</p>	B	<p>○コミュニティスクールのモデル校として、充実した連携が実現できたと思います。一中ボランティアもスタートできました。一中には地域の応援者が沢山いるので、ぜひ今後もその力を借りて学校を良くしていきたいです。</p> <p>○先生方とのつながりが浅かった点については課題を感じましたが、女子バレー部とサッカー部についてはボランティア活動に参加してくれましたし、声をかけてくれた先生もいました。その気遣いが私達もうれしかったし、協力してくれた地域の〇〇さんも良く仰っていました。</p>

領域	NO	評価項目	学校の自己評価		学校関係者評価	
			評価	評価理由及び改善策	評価	学校の説明についての意見
家庭・地域との連携	15	<p>学校は、家庭・地域と連携協力し、児童生徒の課題解決を図っている。</p> <p>※具体的な視点 学校・学級・学年通信などの各種通信による連携協力態勢の構築、家庭との連携協力、字町奉仕活動・親師会との連携</p>	B	<p>○親師会の体育祭時の協力や学校研究時のお手伝い、清掃や環境整備など連携が出来ていてありがたい限り。</p> <p>○また、学校として自分の学校・地域なのにも関わらず、何でもボランティアをつけてしまう点には疑問を感じる。</p> <p>○子ども会等がコロナで中止になっている。地域は中学生に何を求めているか、把握する必要がある。</p> <p>○保護者の要望が細かくなってきているため、学年・学校で共有したり話し合っただけで丁寧に対応する必要がある。</p> <p>○職員自体が地域の方が学校に対してどのようなボランティアをしてくれているのか共有できていないので共有する必要がある。</p>	B	<p>○ボランティアについては、「生徒にも先生にも、時間のある人はぜひ来てください」という意味での活動だと思いません。強制にしないでやっていきたいです。「自分の学校」という気持ちを、みんなにみんな育てていくことがこれからは大切になってくるのだと思います。</p> <p>○サッカー部とバレー部は、練習を中断して参加してくれました。顧問の先生の指導の方針に「スポーツ技術の向上」だけではなく、「人育て」があることを、実際に感じられる場面だったと思います。ありがたいご指導で、感謝します。保護者も地域も、そういう先生のお姿を見ているし、そういう先生に子供を任せたいと思えるのだと思います。</p>
	16	<p>学校は、生徒同士の関わりを深める学級活動を推進し、誰もが居心地のよい学級づくりに向けて、全教職員で協力して取り組んでいる。</p> <p>※具体的な視点 学校研究、特別活動、学び合いを意識した授業改善</p>	B	<p>○校内研修に関しては、授業改善の視点で得るものが多いものとなった。特に今年度の「ユニバーサルデザイン」という観点は、誰もが居心地のよい学級づくりにも大きくかかわっていると考えられる。来年度以降も、研修を通して、誰もが学べる「よりよい授業」を作っていくことは大切。</p> <p>○学級会に関しては昨年度ほど実施できていない現状がある。それは、研究で行った内容、準備に関しては負担が大きく、実際には容量オーバーであるからではないか。学年として、時間を確保することがまず必要であると考えます。</p>	B	<p>○授業改善を目指した校内研修について聞きました。お忙しい中なのにありがとうございます。</p> <p>○学級会に関しては昨年度ほど実施できていない現状があるそうですが、実際に実施しているクラスを見て感心しました。時間の確保が難しいとのことですが、やってくださっているからこそ課題が見えるのだと思います。ぜひ次年度もよろしくお願ひします。</p>
	17	<p>学校は、不登校の未然防止及びその課題解決に向けて、生徒一人ひとりに応じた指導をしている。また、保護者や関係諸機関と連携して組織的に課題解決に努めている。</p> <p>※具体的な視点 教育相談部を軸とした組織的対応、個に応じた対応、個別対応ルーム、家庭との連携、SC・さわやか相談員との連携、リベラー・児相など関係諸機関との連携</p>	B	<p>○学習室については、生徒の居場所としては効果があり、学習室があるから学校に来れる生徒もいる。一方で、学習室から教室復帰につながらないことが課題一もあるので、学習保障(個別の授業、オンラインの活用)という観点も必要なのではないか。</p> <p>○不登校生徒への対応に関しては、個に応じた指導、支援は行っているが、人数が多いために難しくなっている状況もある。該当生徒と担任が信頼関係を築くことが大切で、生徒と関わりをもつ時間を生み出すことが課題。保護者との信頼関係も必須。</p> <p>○不登校の多様性を受け、学校統一の対応範囲を決めることは難しい。対応の仕方はケースによる。</p> <p>○長欠生徒への授業連絡などは、学校としての取り組みになっていてよい。</p> <p>○関係諸機関との連携も大切なのではないかと。</p>	B	<p>○学習室でのご対応や不登校の対応について、多くの意見があるのは、先生方が一生懸命にやっただけだからなのだと思います。本当に頭が下がります。ありがとうございます。</p> <p>○不登校が多い点は課題なのだと思います。そのご対応は大変だと思いますが、ぜひ今後もお願いします。</p> <p>○学習支援や学習室での個別指導など、地域には退職した教員経験者も複数いますので、一中ボランティアとしてお手伝いが出来ないものかと思ひます。子どもたちが学校に出てこられる機会をつくるお手伝いや、先生方の負担を軽くするお手伝いができたらいいと思ひます。</p>

領域	NO	評価項目	学校の自己評価		学校関係者評価	
			評価	評価理由及び改善策	評価	学校の説明についての意見
家庭・地域との連携	18	<p>学校は、学校教育目標の実現、校長の学校経営方針や目指す生徒像等を目指し、教職員一人ひとりのよさを生かした学校運営をしている。</p> <p>※具体的な視点 学校教育目標・経営方針などを意識した教育活動、チーム力の発揮</p>	B	<p>○教職員間で「目指す生徒」や「目指す学校」について話し合える雰囲気をもっとあると良い。</p> <p>○普段の会話を課題についての指摘や愚痴だけにはせず、「どんな方向にもっていきたいか」までを全員で共有するようになりたい。</p> <p>○ベテランから若手へのベクトルも必要だが、それだけでなく色々な伝えあいが生まれる職場になっていくことが大事。</p>	B	<p>○「目指す生徒」や「目指す学校」について、あまり知る機会や伝わってくる場面がなかったように感じます。「笑顔と活気あふれる」という目指す生徒像はとてもよいと思います。まずは先生方がそうあってほしいです。期待しています。</p> <p>○自分の経験上、先生方同士の会話は生徒もよく聞いているものです。高め合う会話は子供にもよい教育になりますので、年齢や経験で上下関係を出さずに、良い関係を見せてあげてください。</p>
	19	<p>学校は、保護者・地域・関係諸機関と信頼関係を深め、共に学校運営の改善や生徒の健全育成に取り組むための連携を推進している。</p> <p>※具体的な視点 親師会・一中会・同窓会との連携、学校運営協議会との連携体制の構築、HP更新</p>	B	<p>○親師会との連携が綿密。</p> <p>○コロナ等で減っていた地域との関わり合いが動き出してきたところのイメージ。</p> <p>○学校運営協議会やボランティアなどの取り組みなどもよい機会になっていると思う。その中で、地域に助けてもらうことも大事であるが、学校をより多くの保護者や地域の方に知ってもらう機会にすることも大事。</p> <p>○字町奉仕活動などは地域の信頼を得るためのよい機会となっているため、勤務時間(平日)に、部活ではなくボランティア活動があってもよい。</p>	B	<p>○コロナ禍であっても、親師会との連携は何とか継続できていたように感じます。</p> <p>○コミュニティスクールによって、地域との関わり合いが始動しました。ぜひ一中ボランティアも始動したので、みんなで協力をしていきましょう。</p> <p>○字町奉仕活動については、地域の理解を得たうえでの改善が必要かと思えます。</p>
	20	<p>学校は、近隣の小学校と連携し、生徒の学力向上や健全育成のために積極的に取り組んでいる。</p> <p>※具体的視点 小中連携(連絡会、情報共有など)</p>	B	<p>○活動がまた活発になり始めている。これからの展開をよりよくしていきたい。</p> <p>○出前授業は中一ギャップに対して効果があると考えられるので、再開してもよいのではないかと。</p> <p>○学級会でのやり方やグッズが引き継いだことはとても大きな収穫だった。同じように、小学校からの積み上げを、中学校で引き継げる連携は大事。</p> <p>○クロームブックを活用した授業に関しても、小から中に引き継げるとより効果的ではないかと。</p>	B	<p>○小中の連携については、あまり私達には見えないように感じます。</p> <p>○出前授業という取り組みは良いと思います。ぜひコロナ5類になる次年度には、実施をお願いしたいです。</p>